

インテリジェントなエネルギー回収：コースティングと回生ブレーキ

ドライバーがアクセルペダルから足を離している時間は、プラグインハイブリッド車の効率において非常に重要です。エネルギー回生は、選択されたギアに応じて、あらかじめ設定された減速率に従い制御されます。さらに、MMI を介して [自動回生機能](#) を作動させることにより、車両は自動的に回生レベルを変化させることが可能です。

ほかの電気自動車と同様に、Audi RS 5 は電動走行中、[ステアリングホイールのパドル](#) 操作により、コースティング時の回生レベルを 3 段階で調整することが可能です。新型 Audi RS 5 には、「EV」と「ハイブリッド」の [2 つの運転モード](#) が搭載されており、EV モードでは、車両が電気駆動のみで走行します。ハイブリッドモードでの自動制御に加えて、デジタル化されたコントロールパネルから希望のバッテリー充電レベル (SoC) を選択できるため、ユーザーはバッテリーの充電量を完全にコントロールできます。

例えば、充電ポイントのない目的地付近でも電動走行ができるように、あらかじめ充電量を設定することが可能です。予測型運転ストラテジーにより、走行予定ルートでのエネルギー配分を最適化し、市街地走行や渋滞時には電動走行を優先することで、局所的な排出ガスを低減し、ハイブリッド走行体験が向上します。

選択された充電レベル (SoC) が現在の SoC より低い場合、車両はその設定値までバッテリーを放電します。両方の値が同じである間は、内燃エンジンが車両を駆動し、バッテリーの充電レベルを維持します。一方、目標とする SoC が現在の SoC を上回る場合には、内燃エンジンでの走行中に高電圧バッテリーを充電します。走行中のバッテリー充電は最大 80% まで可能です。Audi RS 5 は、効率を最大化し排出ガスを最小限に抑えるだけでなく、スポーティなドライビングを実現するためにもバッテリーの充電状態を維持します。ダイナミックモード作動時は、ブースト機能に必要な予備電力を確保するため、バッテリー残量が 20% を下回らないよう制御されます。また、RS スポーツおよび RS トルクリヤモードでは、バッテリー残量が 90% を下回らないよう維持され、スポーティな走行やダイナミックな加速に必要なフル電動パワーを常に利用することができます。

研ぎ澄まされた存在感：デザイン

Audi RS 5 は、そのスタイリングからも明らかなように、公道でモータースポーツレベルのパフォーマンスを発揮します。オプション装備であるダーク仕上げのマトリクス LED ヘッドライトには、チェッカーフラッグデザインを採用した RS 専用のデジタル デイタイム ランニングライト シグネチャーが設定されています。これと連動する RS 専用のカミングホームおよびリービングホーム ライティングシナリオは、停車時であっても車両の圧倒的な存在感を放ちます。

エクステリア：純粋なパワーハウス

Audi RS 5 は、長いホイールベース、大径ホイール、そして低いボディを備えています。クーペのようなシルエットを持つ Audi RS 5 Sedan は、デザインと機能性の両立を実現しており、コンパクトなキャビンは、なだらかなリヤウィンドウから、印象的なダックテールを備えた短いトランクリッドへとシームレスに流れています。実際には、このなだらかなリヤウィンドウはトランクリッドの一部となっており、荷物の積み降ろしのために十分なスペースを確保しています。このデザインはダイナミクスを視覚化し、実用性を高めています。

名高い歴代モデルと同様に、新型 Audi RS 5 は RS 特有の筋肉質なスタイルを備えています。ベースモデルの Audi A5 と比較して、前後とも左右に 40 mm ずつ車幅が拡大されており、フロントは立体的なハニカムグリルを備えたシングルフレームが圧倒的な存在感を放ちます。ダークなマスクが、フロントホイール周りの空気の流れを制御するエアカーテンとシングルフレームを繋ぎ、デザインの機能的な側面を強調しています。フェンダーの前後に配置されたエアベントは、Audi RS 5 の力強い存在感を際立たせます。力強く彫り込まれたホイールアーチは、ショルダーラインから意図的に突き出しており、これは伝説的な Audi Ur-quattro への明確なオマージュであり、RS DNA の特徴です。

リヤセクションでは、最大限の空力性能を得るための垂直フィンを備え、力強く造形されたディフューザーが印象的です。RS エキゾーストシステムのチップはセンターに配置されたマット仕上げのオーバルテールパイプを採用しており、今回のモデル向けに新たに開発されました。バルブはあらゆるポジショ

ンで開くことができ、各ドライビングモードにふさわしいサウンドを奏でます。Audi RS 5 のモータースポーツの伝統を称え、赤いリフレクターがディフューザーの中央に垂直に配置されています。

ライト：視覚的な独自性と安全性

ライティング テクノロジーは、Audi RS 5 の独自のキャラクターをさらに引き立てます。[第2世代のデジタル OLED リヤライト](#)は、デザイン性、機能性、そして路上での安全性においても強い存在感を放ちます。独自のライトシグネチャーは、チェッカーフラッグをモチーフにデザインされています。

Audi RS 5 は、安全機能においても高い水準を備えています。Audi A5 モデルシリーズの姉妹モデルと同様に、このハイパフォーマンス ハイブリッドにはデジタル OLED リヤライト 2.0 が採用され、路上での安全性を向上させるコミュニケーションライトを搭載しています。この機能により、前方の事故や故障車の状況を後続車や周囲のドライバーへ警告することが可能です。さらに、コミュニケーションライトは、危険な運転状況や交通状況に応じて、警告シンボルを含む特定の追加グラフィックを表示します。